

TEEP

進化型実務家教員
養成プログラム

NEWS LETTER

VOL.50

TOPICS

実務家教員というキャリアの可能性 — 現場の知見を大学教育と運営に活かす —

2021年に取り上げていただいてからもう4年が経ちました。学生でいえば、入学から卒業までの時間です。当時は「デザイン教育をデザインする」という視点を、デザインプロデュースという新しい領域の立ち上げとともに紹介しました。

この間にも、デザインを取り巻く状況は大きく変わっています。AIの登場によって造形技術は大きく進化し、デザイナーには課題を見つけ、未来を描く力がより強く求められるようになりました。デザインは実学であるため、現場感覚を持つ教員が不可欠ですが、その教員自身も変化を捉え続けなければなりません。社会と大学をつなぐ実務家教員の役割は、これからますます重要になると感じています。

一方で、私自身の業務内容も変わってきました。授業設計に加え、学科方針や学外連携のマネジメントにも携わるようになりました。本学の学部構成は、一般的な美術・芸術大学とは大きく異なり、デザインへのアプローチも独自のものになります。その独自性をどう打ち出すかを考える作業は、実務でのブランディングやビジョンデザインに近く、職能が意外なかたちでつながることを実感しています。

現在は産官学協同研究センター長として、外部から寄せられるプロジェクトの仕切り役をしています。高度な成果を期待されることも多く、教育とアウトプットの質の板挟みで苦労しますが、企業との協働を重ねながら、PBLの実践を更新し続けています。



名古屋学芸大学
メディア造形学部デザイン学科 学科長 教授
名古屋学芸大学 産官学協同研究センター長
富安 由紀子 先生

教員メッセージ

実務と理論を架橋し、支援の専門性を育む



心理カウンセリングコースでは、「実務と理論の架橋」をキーワードに、対人支援の本質を深く掘り下げる学びを重ねています。知識や技法の習得にとどまらず、現場の日々の営為を振り返り、意味を問い直し、支援者としての姿勢や倫理観を省察して、実践に還元することを大切にしています。

修了生がそれぞれの職場や地域で奮闘し、支援者として成熟していく姿には、私自身も大きな感銘と励ましを受けています。

これから受講される方も、自身の経験や問いを携え、ともに「支援の専門性」を育んでいただきたいと思います。

(中京大学大学院心理学研究科 神谷栄治)

TEEP \NOW/

みなさん、こんにちは！

2025年度のTEEP基本コースも早くもあと、1カ月を残すところになりました。

今年度は10月2日(木)が修了式となっております。TEEP基本コース修了後は、約半年間で学んだことをそれぞれの場所で活かしていただくことを願っております。

また、後期からは「経営実務コース」に3名、「減災・医療コース」に1名が学びを進める事となっております。

より高い専門性を追求し、実務家として高みを目指します。

大学の教室から広がる、学びの手応え。 TEEPが繋ぐ未来のキャリア



TEEPでの学びは、日常や仕事の中で確かに活きていると感じます。

この経験をきっかけに興味のある分野をさらに深めたいと思い、現在は名古屋市立大学データサイエンス研究科に在籍しています。会社員としてのキャリアにも大きな変化をもたらしました。

実践の場として、名古屋市立大学の学部生向け授業「ラーニング・コンパス」で講師の機会を得ました。授業の学習到達目標には、シラバスに「他者と対話しながら、根拠(事実・データと論拠)をもって主張を組み立て、結論を導く姿勢とそのための知識習得」とあります。これは企業や市民活動の場でも不可欠な力だと感じています。

授業では、学生同士の議論が停滞すれば問いか

けを行い、再びゴールに向かえるようにサポートしました。グループごとの特性に合わせた関わり方や、安心して意見を交わせる場づくりには、TEEPで培ったファシリテーションの経験が活きています。また、学生の意見や発想に刺激を受け、新しい視点を取り入れるきっかけとなりました。

今後は、大学院での研究に加え、会社や市民活動の会議での合意形成にも、この経験を活かしていきたいと考えています。誰もが意見を出しやすく、互いの強みを活かし合える場をつくることを、これからも大切にしていきます。

(第3期 TEEP修了生 加藤 智康)



開学75周年記念事業 令和7年度市民公開講座のご案内

【日 程】 2025年9月20日(土)～11月16日(日)

【内容】 地域貢献の一環として幅広い世代の方々に生涯学習の機会を提供する「市民公開講座」を例年開催しております。今年度は名古屋市立大学、開学75周年記念事業とし、全10回の公開講座が開講となります。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/press-news/202508121000/>

【会 場】 名古屋市立大学

(注)各講座の開催時間および開催場所はチラシまたは本学ウェブサイトをご覧ください。

【受講料】 各回 500円

(第9回のみ実験経費 1,000円が別途必要)

【申込方法】 インターネット(名古屋市電子申請システム)、メール、FAX、往復はがき (注)先着となります。

【申込締切】 各講座開催日3日前 午後3時まで

お知らせ

文部科学省では、大学等が提供する社会人向けプログラム(リカレント教育プログラム)の情報を掲げるポータルサイト「マナパス～社会人の大学等での学びを応援するサイト」を運営しています。

リカレント教育プログラムとして、社会人向けプログラムであるTEEPも掲載されていますので是非ご覧ください。

(<https://manapass.jp><<https://manapass.jp/>>)

公募情報

ピックアップ

- 中京学院大学(岐阜県)
非常勤講師の公募
(SNS運用とファンづくり実践)
- 東洋大学(東京都)
東洋大学情報連携学部情報連携学科
特別教員の公募【情報学及びその応用分野】